

日本蘇生学会第39回大会

演題発表用音声付きスライド 作成・保存マニュアル

- 使用するソフトは講演用に作成されたパワーポイントのみです。
- 別途特殊なソフトはございません。パワーポイントの「ビデオの作成」機能を利用し動画を作成いただけます。
※ **Macintoshでは、2019以降のバージョンのPowerPointでないと「ビデオの作成」に対応していませんのでご注意ください。**
- PCのマイク（外部マイクをPCに接続しても可）を利用します。
- 必要に応じてPCのカメラを利用し収録いただいても結構です。

Mac版

2020/10/20

録音を始める前に

スライドは以下の仕様で作成してください。

- 1枚目 演題名
- 2枚目 利益相反（COI）
- 3枚目～ 講演用内容

機器の準備

- ・パソコン・マイクのご準備をお願いします。
- ・マイクの性能テストを行ってください。
(マイクが内蔵されているノートパソコンを使用する場合は内臓マイクを、マイクのついていないノートパソコン・デスクトップパソコンを使用する場合は、外付けのマイクをつないで音声の録音をお願いします。)
- ・録音の際は極力静かな場所で雑音が入らないようお願いいたします。

作成時の注意事項 1

ファイル形式	MP4形式 推奨バージョン： ※Microsoft PowerPoint Mac 版 2019/365 ※Microsoft PowerPointで作成後、MP4形式に変換してご登録ください。 ※Microsoft PowerPoint 以外のソフト（Keynote など）をご利用の場合も、MP4形式に変換してからご登録ください。
サイズ	標準的なサイズ、ワイド画面（16:9）または標準（4:3）で作成してください。 フルHD、1920:1080（16:9ワイドの場合）、1440:1080（4:3サイズの場合） ※4Kには対応していません。それ以外のサイズでは、表示が小さくなる場合があります。 スライドサイズはMicrosoft PowerPoint の「デザイン」ページ内上部の「ページ設定」から「スライドサイズ」をご指定ください。
動画・音声	埋め込み形式で作成してください。Microsoft PowerPoint形式で作成する場合、 拡張子「.ppt」で保存すると音声が消える可能性がありますので必ず「.pptx」で作成してください。
ウイルスチェック	必ず行ってください。
ファイルサイズ	最大2GBを推奨いたしますが、 スライド枚数が多く、容量が大きくなる場合は、30枚程度ごとにファイルを分けてご提出ください。
ファイル名	「演題番号_演者名.pptx」としてください。（例「01-1_蘇生太郎.pptx」）
フォント	フォントはOS標準フォントを使用してください。 【日本語】MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝、メイリオ、游ゴシック、游明朝 【英語】Times New Roman, Arial, Arial Black, Arial Narrow, Century, Century Gothic, Courier, Courier New, Georgia ※OS標準フォントのうち、MacのOsakaフォントについては文字ずれ・文字化けする場合があります。 ※特殊なフォントの場合、標準フォントに置き換わってしまうため、文字ずれ・文字化けする場合があります。

※MP4形式に変換できないバージョンで作成した場合は、コメント欄にその旨を明記の上、Microsoft PowerPoint ファイル（.pptx）形式のままデータをお送りください。

--録音を開始する前に--

PowerPointファイルの拡張子が「.pptx」になっていることを確認してください。違った場合は、まず「.pptx」で保存しなおしてから、録音を開始してください。

※誤って「.ppt」など他の拡張子のまま録音してしまうと、録音した音声が消えてしまい、再度録音しなければいけなくなる可能性があります。

--ファイルの拡張子が表示されない場合の確認方法--

<Macの場合>

- ①「Finder」>「環境設定」と選択してから、「詳細」をクリックします。
- ②「すべてのファイル名拡張子を表示」を選択します。
→ファイル名に拡張子が表示されます。

録音時のポイント

◆なるべく一度で録音を終了してください。

(修正すると、タイミングポイントに不具合が起こる場合があります)

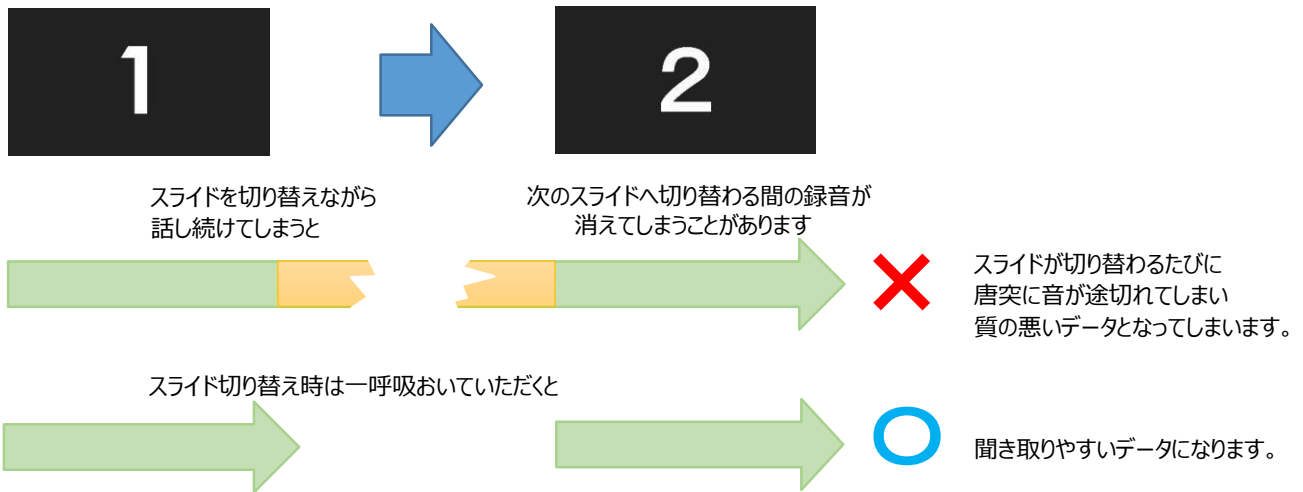
※ 音声を録音し直す場合は5ページの「スライド毎に録音し直す方法」をご覧ください。

(録音をしなおした場合はタイミングポイントにずれが無いかな必ず確認してください。)

◆スライド毎の録音をおすすめします。

PowerPointの録音は各スライドごとに別の録音データになります。そのため、話をしながらスライドを切り替えてしまうと、その時の音声が途切れてしまうことがあります。音声の途切れを防ぐため、スライド毎の録音をおすすめします。

一気に録音をされる場合は、次のスライドに進む際に一呼吸おき、一瞬でも構いませんので**何も録音しない余白を作る**ように意識していただくのがおすすめです。

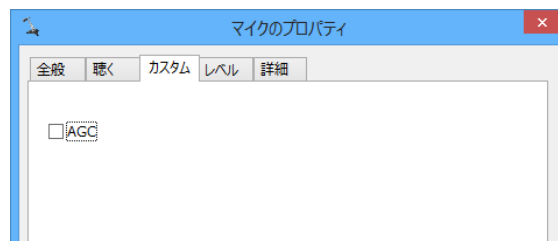


◆マイクの設定をご確認ください

※自動音量調整つきマイクの場合、音声が途切れることがありますので設定をオフにしてください。

※いきなり全部を録音するのではなく、まずは1枚目だけの録音をしてから実際にご自身で試聴していただき、音量・音質をご確認ください。

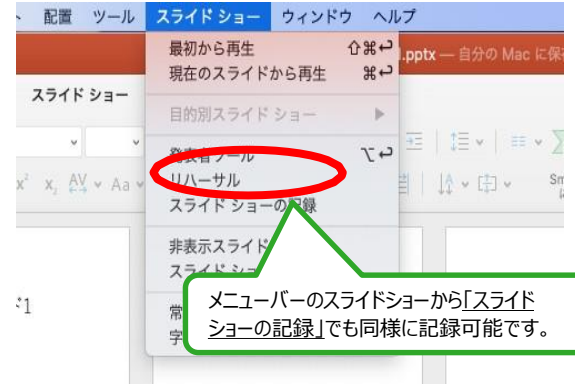
※音がゆがむ場合・自動的に音量が変わってしまうことがわかった場合は、マイクのプロパティを確認していただき「ノイズ抑制」「音響エコーキャンセル」「AGC (オートゲインコントロール)」「DCオフセット除去」など、音量などを自動修正する機能のチェックを外してみてください。(Windowsの場合。なお、マイクによってはこれらの項目はありません)



音声の録音



スライドショーの記録をクリック

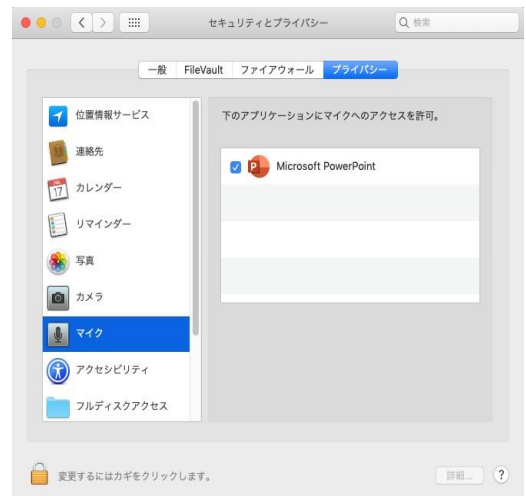
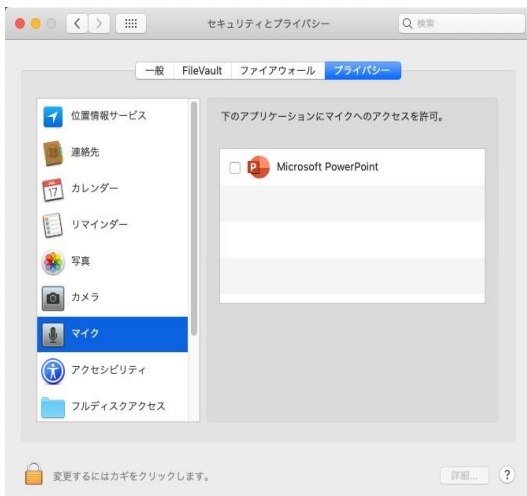


注意！）記録開始にあたって、特にカウントダウンなどはありません。
またRECマークなどは表示は出ず、スライドショーがすぐ始まります。

注意！）下写真アラートが出たら「OK」をクリックしてください。音声記録の許可です。



システム環境設定からマイクへのアクセス許可は変更できます。
「システム環境設定」→「セキュリティとプライバシー」→「プライバシー」タブ→「マイク」

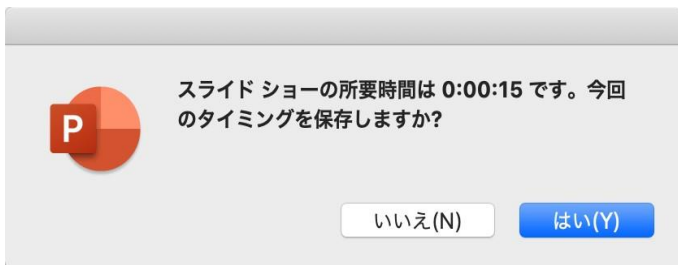


解説

「スライドショーの記録」（ナレーションの録音）画面です、操作方法は下記を参照してください。



スライドショーが終了する もしくは「esc」を押すと下写真アラートが出ますので「はい」をクリックします。



各スライドの下に所要時間とアニメーションマークが表示されます。



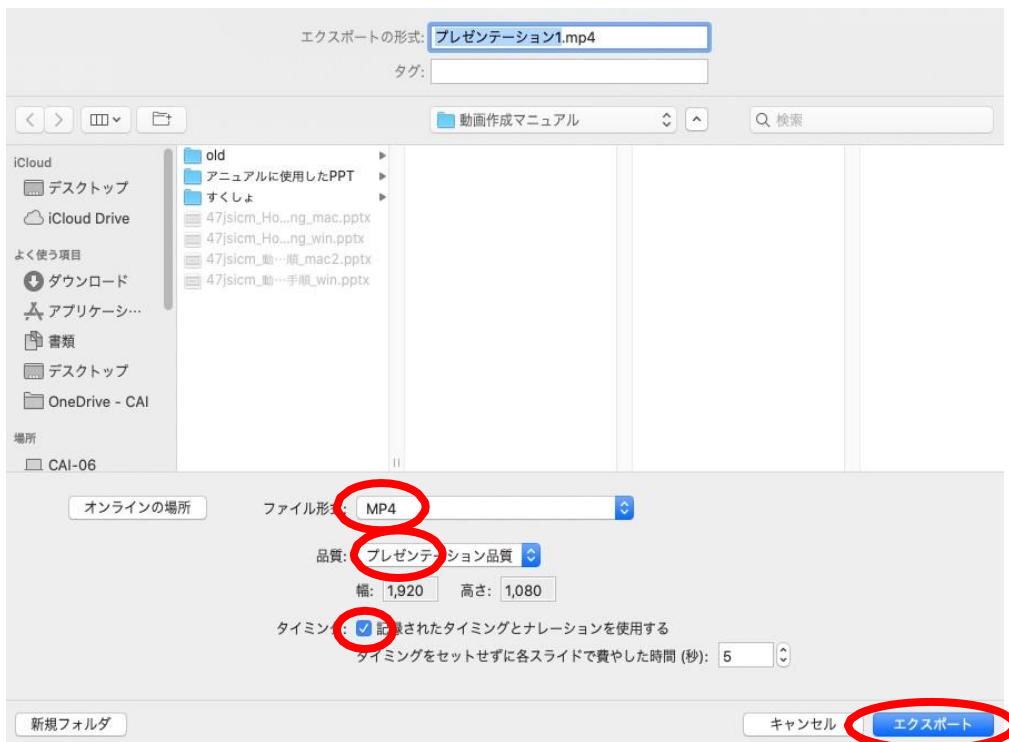
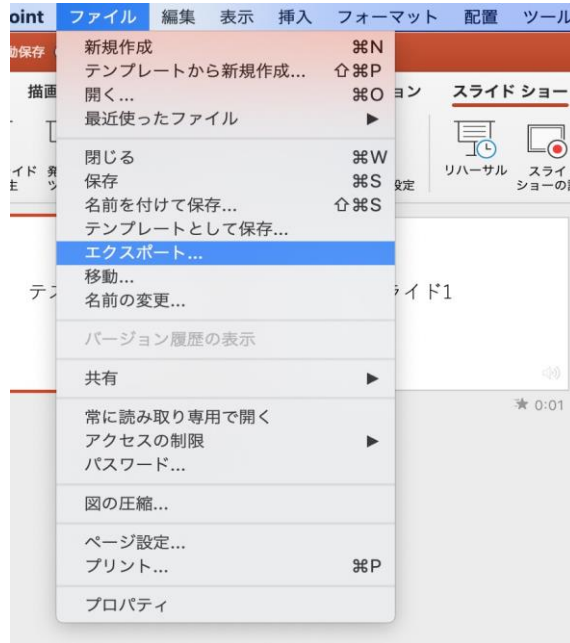
動画ファイルの作成方法

メニューバーのファイル→エクスポートをクリックします。

右のウィンドウが表示されたらファイル名と保存場所を指定します。

ファイル形式「**M P 4**」、品質「**プレゼンテーション品質**」幅**1,920** 高さ**1,080**を選択、

「**記録されたタイミングとナレーションを使用する**」にチェックを入れ、右下の「**エクスポート**」をクリックします。



指定の保存場所に動画ファイルが保存されますのでご確認ください。